

基本理念

1. 患者中心の開かれた病院として、安全で質の高い医療を提供する。
2. 新しい医療の開発と実践を通して、社会に貢献する。
3. 専門家としての責任と使命を自覚し、人間性豊かな医療人を育成する。

特徴

基本理念を基に、診療・研究・教育を中心として事業を展開しています。平成16年度からは国立大学法人となり、より一層の経営努力が必要とされるようになり、さらなる経営の合理化を進めているところです。同時に地域の医療機関との連携をより一層図っているところです。平成17年度からは、総合臨床教育・研修センターが発足し、医師・歯科医師のみならず、薬剤師やメディカルスタッフの教育・研修にも力を入れています。

沿革

明治32年7月	京都帝国大学医科大学を設置
明治32年12月	京都帝国大学医科大学附属医院を開設、診療開始
大正8年2月	京都帝国大学医学部附属医院と改称
昭和24年5月	京都大学医学部附属病院と改称
平成10年4月	京都大学胸部疾患研究所附属病院を統合
平成16年4月	国立大学法人化